

2013年(平成25年)

6月19日

Elderly Press Newspaper  
エルダリープレス ニュースペーパー

(毎週水曜日発行)

第259号

# 週刊 高齢者住宅新

(株) 高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15 TEL.03-3543-  
http://koureisha-jutaku.com 発行人 西岡一紀 年間購読料 21,000円

## トピックス



▲茨木・摂津拠点での清掃活動の様子

展で介護の問題がク  
年。高畑敬一会長は  
「少子高齢社会の進  
展で介護の問題がク  
展で介護の問題がク

## 「時間預託制」実施



ナルク  
高畑敬一会長

手は主婦や会社を定年退職  
した男性など中高年  
齢者が中心。現在約  
3万名が会員として  
在籍。夫婦の比率が  
7割と非常に高いの  
も特色だ。  
ナルクが産声をあ  
げたのは1994  
年。高畑敬一会長は  
「少子高齢社会の進  
展で介護の問題がク

NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ(NALC、大阪市)は、自立や助け合い、奉仕、生きがいなどをテーマに中高年齢者が集まり地域貢献となる事業を展開。20年ほど前に「時間預託制度」という独自の仕組みを作り上げ、今では全国130拠点で約3万名が活動している。「ナルク」の取り組みを紹介する。

庭の手入れ、家事援助、  
送迎、公園の清掃、子育て  
支援、話し相手……。介護  
保険制度ではカバーされな  
い隙間のサービスをボラン  
ティアの形態で提供。担い  
手は主婦や会社を定年退職  
した男性など中高年  
齢者が中心。現在約  
3万名が会員として  
在籍。夫婦の比率が  
7割と非常に高いの  
も特色だ。  
ナルクが産声をあ  
げたのは1994  
年。高畑敬一会長は  
「少子高齢社会の進  
展で介護の問題がク

## 会員相互で助け合い

### 全国130拠点、3万人活動

ローズアップされ始めた時  
期。ボランティアで社会に  
役立つことをしたかった」  
と当時を振り返る。  
またボランティアという  
形態が今ほど根付いていた  
わけではなく、一過性で終  
わってしまうものも少なく  
なかったという。高畑会長  
はボランティアを単発で終  
わらせず、「継続型」「事業  
型」で手掛けていくことを  
志向。考え出したのが「時  
間預託制度」という仕組み  
だ。

現在北海道から九州まで  
130拠点を網羅。遠く離  
れた故郷に住む両親の介護  
や、故郷に残した墓の掃除  
を依頼するなど遠距離サポ  
ーターにも適している。「女  
性の力を活用したことで、  
地域に根付いた活動が可能  
になった。夫婦間の助け合  
いから両親の介護、さら  
は遠距離介護と役割が増し  
ていった」(高畑会長)。

本部では普及・啓発を推  
進するため、介護サポータ  
ーやリーダーなどの養成講  
座、さらには各拠点で「助  
け合い」のコーディネータ  
ー役を務める人材養成講座  
を実施。会員となるための  
年会費は3000円(夫婦  
二人でも同じ金額)。

時間預託制度の基本は会  
員同士の助け合い。ボラン  
ティアにかけた時間を1時  
間1点としてナルクに預  
託。自分や親・配偶者が困  
った時に預託しておいた点  
数を引き出して他の会員に  
助けてもらう。送迎、庭任  
事、ペットの世話、家庭内  
の援助など仕事は多岐にわ  
たる。

当初から活動がマスメデ  
ィアで大きく取り上げら  
れ、社会的な関心を集めた。  
結成1年後の阪神大震災の  
際は、まだボランティア活  
動が目立っていなかった  
中、2年間にわたり延べ4  
500人が手弁当・旅費持  
ちで2万時間の救援・奉仕  
を行った。

支援センター、社会福祉協  
議会などとの連携も強化し  
ていく。